

6－2 事業活動報告交流会の実施

公益事業に対する理解の普及と協力を得ることを目的に、全国の大学・短期大学の関係者を対象に12月1日に関西・中四国地域（会場：関西大学）、12月4日に九州地域（会場：福岡大学）、12月7日に東北地域（会場：東北学院大学）、12月8日に北海道地域（会場：北海学園大学）、12月10日に東海地域（会場：名古屋学院大学）にて向殿会長、宮川副会長、事務局長が出向して実施した。5地域で51大学、18短期大学、201名が参加した。69校201名の内、非加盟校は30校41名で20%、参加者の内、教員は50名、25%で、大半は職員であった。

以下に5地域における参加者のアンケート結果を教員、職員別に報告する。

（1）事業活動に対する感想

- ① 教員からは、「経営から教学に至る幅広い領域について現状と課題を整理し、今後の方策を考えていく上で有益な情報を提供している」、「アクティブ・ラーニングで本学が抱えている悩みに対して示唆に富んだ話が多かった」、「全体に興味深い活動で大学に情報提供していきたい。成功例に加え失敗例も紹介いただきたい」など、活動内容が歓迎されていることが伺えた。
- ② 職員からは、「教員向け、学生向けなど様々な取り組みや研修がされており、報告を参考にして大学改革、教育改革を行っている」、「情報環境白書で他大学の取り組みが分かりこれから取り組んでいくべき課題などを整理することができた」、「情報リテラシー教育のガイドラインについて強い関心を持った。今後提示される予定の授業モデルは注目していきたい」、「多方面にわたる活動をしていることが良く分かった。多くの事例の紹介、さまざまな提案の提示をいただき助かっている」など、活動内容について非常に関心があることが分かった。

（2）事業全般に対する要望・感想

- ① 教員からは、「私学の存続に向けて種々の施策をお願いしたい」、「交流会を多くして欲しい。積極的に情報提供して欲しい」、「企業現場研修の地方開催を希望する」、「法律系などのコンテンツ提供について積極化して欲しい」などの要望が寄せられた。
- ② 職員からは、「ICT関連以外の教員に積極的な情報を発信・提供してほしい」、「多様な事業活動を知ることができるが、地方の大学は私情協を活用できていない」などであった。なお、活用できていないとの指摘は、大変重要な問題として事業運営の中で何らかの対応を考えることにしている。

（3）交流会運営の教員、職員からの要望・感想

「意見交換の時間を十分に設ける。時間が短いので余裕のある時間設定を行う」との意見があり、来年度工夫することにしている。また、「大変良い試みと思う、熱心さが伝わってきて良かった」、「参加者の意見が伺えるような場所設定は今後も続けて欲しい」、「ICT活用に留まらず質保証にも言及していてよかったです」、「補助金関係の情報は実務でも非常に参考になる」などの他、軽食を伴う情報交換会についての要望もあった。